

「アビリンピック（障害者技能競技大会）について」

理事長 川崎 壽洋

私がアビリンピックのことを初めて知ったのは、約3年前でした。当時の愛媛県労働雇用課の担当職員が砥部の事務所に来られて、秋に茨城県で開催される全国大会に愛媛県から5人の選手を送りたいとのことで、誰が出場してくれる人はいないだろうかという相談をされました。それまでは愛媛県の代表選手は1人か2人しかいなかったそうです。

ふうしすてむのメンバー数名に声をかけて、出場してもらおうことになっていたのですが、3泊4日というスケジュールが体力的にきついということで辞退することになり、仕方なく私が出場することになりました。「コンピュータプログラミング」や「ホームページ」の種目で出れば良かったのですが、当時仕事が忙しくて練習をするための時間的余裕がなかったため、手取り早い「パソコン組み立て」の種目で出場することにしました。

競技前日の説明会の時に「今年は内容よりも完成するまでの速度が重視されます」との説明を受けたので、スピード重視で早く組み立てることを意識して競技に臨みました。「パソコン組み立て」の競技は、ケースや電源ユニット、マザーボード、メモリのほか、ハードディスクやフロッピー、CDなどを取り付けて、空気の流れをよくするために結線バンドでコード類を固定させた後、BIOSの設定変更やOSのインストールをして、フロッピーやCDに入っているファイルを指示に従ってデスクトップにコピーする作業までを行って完成となります。

競技時間は4時間設けられているのですが、私が完成させて退室したのは1時間半ぐらいでした。私より先に退室した人は1人しかいませんでしたので、銀メダルが悪くても銅メダルは確実だろうと思っていたのですが、結果は「失格」でした。（泣）初めてのアビリンピックということもあり、どのように採点や審査が行われるのかさえ知らなかったのですが、私はいつもの習慣でWindowsのログインの時のパスワードを設定してしまっていたのです。本人立ち合いのもと課題がちゃんと出ているかどうかの確認をして審査されるものと思っていたのですが、実際には競技が終われば選手は帰らされて、審査員の人たちだけで審査するようになっていました。

本人が居ないわけですから、当然パスワードがわからないため、課題が出来ていくかどうかの確認ができず「失格」ということになったわけです。

翌朝、会場で審査結果の発表があり、その後一人ずつ審査員の人から説明を受けるのですが、「コード類も綺麗に束ねられていて空気がスムーズに流れるようになっていて、組み立て速度も速かったし、パスワードさえ設定していなければ」と言われさらに一段と悔しい思いをしました。

今年NPO法人ネセサーフォーさんと夏に開催した模擬技能競技会にも多くの人に参加していただき、また11月に開催された県大会では「データベース」と「ビルクリーニング」の2つの種目が新たに加わり、「データベース」の種目では、全国



岡山・神戸・京都・大津

たはずの忠度が勅撰和歌集に一首なりとも載せて頂きたいとの思いで和歌の師である藤原俊成を訪ねます。

京都市中京区の繁華街から少し離れた、京都らしいお店の見えるビジネス街のビルの谷間に俊成の館跡と言われている小さな俊成社があります。

「忠度最期」には、須磨で忠度は戦いに敗れ箠（えびら、矢を携帯する容器）に「旅宿花」という辞世が結び付けられていて、戦場ではその死を知った多くの人に惜しまれたとあります。

行き暮れて木の下かけを宿とせば 花や今宵のあるじならまし

忠度の切り落とされた腕を祀ったとされている腕塚や胴塚は神戸市長田区の屋並みの中にありました。

その後、世の中が落ち着き俊成を中心に千載和歌集の編集がなされ、その中に詠み人知らずとして一首採られています。

さざなみや志賀の都はあれにしを 昔ながらの山桜かな

滋賀県大津市の三井寺の近くには桜の名所の長等（ながら）山があります、昔ながらと地名の長等を掛詞にしています。ここからは琵琶湖の対岸の鈴鹿の山並みや湖東が遠く望まれます。

平忠度が薩摩守であったことから列車などのただ乗り（忠度＝ただのり）をサツマノカミとか言われていました。不正乗車は他にキセルと言うのがありますが平家物語とは関係がありませんので。

（紅い八月）

父と息子と師弟の平家物語

岡山市の吉備津神社近くの小学校に妹尾（せのお）兼康を祀った墓があります。妹尾はこのあたりの領主で用水や堰をつくり周辺を整備したと湛井堰の守護神井神社境内に「兼康神社」が祭られています。

平家物語の「瀬尾最期」では、平家方の兼康は源（木曾）義仲に捕えられた後、その力を評価され生かされていましたが、それを裏切り支配地の妹尾に城を構え義仲の軍と戦います。

義仲の乳母子の今井四郎に攻められ退くなか、太っていたため逃げられず捕えられた子の宗康を助けようと敵陣に引き返し討ちとられたと書かれています。

旅のその日、妹尾が作ったとされる用水に五月雨の小さな輪が次々広がっていました。

兵庫県神戸市の須磨には別の親子のドラマがあります。

平家物語の「知章最期」には、義経の一の谷鶴越（ひよどりごえ）の戦いで清盛の四男知盛とその子知章は海岸に出て交戦。知章は父親の知盛の争いに割って入ったが困まれて最期を遂げた。生き延びた知盛は、「どんな親が息子を助けなくて逃げたのだろうか」と自分を責めた。一年後の壇ノ浦で平家の総帥となった知盛は「見るべきものは見た」と最後の言葉を残します。彼が見て経験したことを思い、使命を持つ身のため死ぬべき時に死ねない運命は一族が滅ぶときに果たされました。胸を打つ物語です。



「知章」の大きな碑は国道の横にありました。

また須磨には和歌で結ばれた子弟の物語があります。

平家物語「忠度（ただのり）都落ち」では、京都を落ち

大会で金メダルを獲得して、昨年ソウルで開催された国際大会でも入賞された門田さんと共に審査員をさせて頂いていただきました。

今後は「DTP」や「ホームページ」といった、実際に仕事で役に立つ種目も増えていけば良いと思っています。県大会で行われている「ワープロ」「データベース」といったパソコン関係の競技は、選手と審査員以外は競技中の部屋に入ることもできないのですが、障がい当事者や障がい者の雇用を考えている企業の方にも見てもらえるような場所で開催できればと思います。

県内で働く障がい者の姿を紹介するDVDも作成しているのですが、障がいがあっても働けるんだということを知ってもらうためには、実際に障がいのある人が作業しているところを見てもらうのが何よりだと思います。

職員紹介

余田光範

2012年9月より「ふうしすてむ」のスタッフになった余田光範です。私はこれまで一般企業で営業等をしていましたが前職で体調を崩し復職に向けリハビリをしている中、多くの支援者と会い自身の生活向上以外の為にも働いてみたいと思うようになりました。

「ふうしすてむ」では営業活動を主にします。多くの方に当法人を知っていただき障がい者が自活出来るシステム作りのお手伝いをしたいと思います。よろしくお願いいたします。

K・E

今年の9月より、みなさんと共にお仕事をさせていただくようになりました。主にIT支援を担当しておりますが、実際はみなさんに学ぶことの方が多い今日この頃。毎日が勉強であり、また発見でもあります。

医療分野で働くこと数年、福祉的な面も少なからず接触はありましたが、今現在のような環境はまったく初めての経験です。

まさに、手探り状態からのスタート。サポート役にはまだまだおよびませんが、みなさんと並んで歩いていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ボランティア募集

会員にパソコンの面白さや操作方法をつたえる

『パソコンボランティア』を募っています。

経験のある方は、知識や技術を、

パソコンの苦手な方は、笑顔をお分けください。



特定非営利活動法人 ふうしすてむ 事務局

〒790-0821
愛媛県松山市木屋町3丁目12-7
TEL 089-923-5002 FAX 089-923-5020
http://www.busystem.jp/
staff@busystem.jp

砥部事務所

愛媛県伊予郡砥部町八倉170
TEL 089-989-4400



「コパンノ冒険観劇帳」

コパン

劇場。みなさんはこの言葉で、どんなイメージが浮かびますか？
「堅苦しい。敷居が高い。チケットが高い。移動距離が長い」

つまり、総合すると、怖い。これは劇場初心者かつ小心者の私が思っていた事です。

今でも開演時間が迫ってくる、ドキドキして、ご飯も喉を通らなくなりませう。

ふらっと入れる気安さがないぶん、まるで冒険に出たかのような体験もします。ということ、今まで訪れた劇場を、独断と偏見と共に送り送りたいと思います。

今回の劇場は行きたてほやほやですよ。なにせ10月末ですもの。駅からすぐ！という情報があったので、楽勝と、なめきっていました。しかし一歩踏み出すと、そこは迷宮！とにかく建物密集！雑多！混沌！見わけつかない！地図はしりすぎ！しかも夜！

案の定、コパンはさまよってしまいました。すると、なにやら同じ舞台を観に来た人っぽいオーラが

「アビリンピック」

ぶつすてむA型メンバーのTです。

10月19日(金)〜22日(月)までアビリンピック2012、ワードプロセッサ部門出場のため長野県に出かけてきました。

アビリンピックは全国障害者技能競技大会のこと、アビリティ(Ability=能力)とオリンピック(Olympic)を合わせた造語です。障害のある方が就職して自立するという考え方を広めるとともに、雇い主や社会全体に理解してもらうことを目的に開催されています。

Word・プロセッサ競技は3時間ほどあり3問の課題を作成していきます。※競技時間は競技によって違います。

3つ目は英文作成なので英語タイピングもある程度慣れておきたいほうが手間取らなくて良さそうです。今年Word2007だったのですが、来年はバージョンが2010に変わるかも？

どうでしょう。
ちょうど業務(動画編集)も忙しい時期でこちらもこなしていきつつ、家で日本語・英語タイピング練習と過去に出題された問題を解いて臨みます。

人、発見。

「……よし、後つけよう！」

気付かれないように並行しつつ、ようやく劇場に辿り着けました。

*劇場の名前は本多劇場。

観劇日は、2012年10月末。

場所は下北沢駅の近く。特徴は迷いやすさ、狭さ、演者との近さでございます。

さて、劇場の中は、通路にも当日券のパイプ椅子が並んでおりまして、まさにぎゅっちり!!一階しかない客席は、後列になるにつれて傾斜が急になっていて、全体が一つの大きな階段みたいでした。

さあ、物語の幕開けです。

まず、はじまって思った事。

「声がでかい！ライト眩しい！常におおりの構図！」それもそのはず、観劇人生、初の前列ど真ん中です。あまりに近すぎて、友達を見るような感覚でみちやいました。

あ、先ほど、緊張すると書きましたが、それは、舞台の幕が上がる前までのおはなしです。幕が開いたら、そこは魔法の場所になっちゃうのです。ミヒヤエル・エンデという人はこう言っています。

した。

飛行機や新幹線を乗り継いで愛媛〜長野へ。旅費も支給してもらえて引率もしてもらるので安心して。介助者を一緒に連れて行くことも出来ます。



愛媛県からの出場は私を含め5名で機械CAD(銀賞)、コンピュータプログラミング(銅賞)、製品パッキング(努力賞)、ワード・プロセッサ、喫茶サービスに出場しました。

うち二人の方は車椅子だったので交通機関の移動もこういった工夫をするんだとか、自分とはまた違った障がいがあるんだと良い経験になりました。みんな和やかなムードで仲良くお話しして過ごせましたよ。自由時間もあったので善光寺に観光しに行ったり、お蕎麦を食べたりお土産を選んだり今年のアビリンピック開催地長野を堪能できました。

この記事にお目通しただけ障がいをもつ当事者の方や周囲の方がアビリンピックに興味をもっていたら嬉しく思います。

た。「劇という遊戯が行われている間、あなたは倫理的必然性の外にいるのです。まさにそこにこそ芸術鑑賞における自由の体験があるのです」って。そんな自由の体験後、アンケートをめぐり書いて書き殴りまして、ぼーっとして劇場を出ました。しかし、どこまで行っても駅が見えませんが、それもそのはず、入口と出口は別方向だったのです！来た道を引き返していると、同じく迷える人に遭遇。話してみると、同じ舞台を観た人でした。成り行きで、おしゃべりをしながら、駅まで帰りました。私と彼女の舞台の感想は、

「言葉とか、なにも出てこないけど、すごくよかった」
怖い分だけ、感動もひとしお。そんな小さな冒険でありました。(おしまい)



障がいがあっても安心して働ける環境があるからこそ家だけではなく社会と接点を持つことができまして、パソコンなど障がい以外の伸びしろを伸ばしていくことが出来ました。

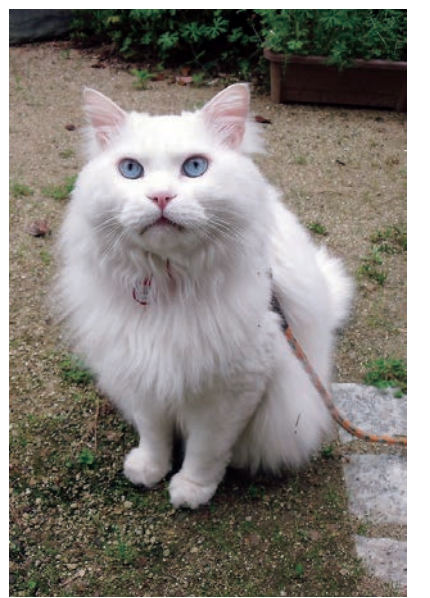
アビリンピックに臨むことも仕事へのやる気につながりました。

【おまけ】
アビリンピック会場ワークショップブースをぶつすてむも出していました。障がい者の働く姿の動画を流していたのですが、何本かあるうちの動画の一部を私も旅立つ前日まで編集したりDVDを作成したりして忙しかったのです。

(泣)(笑)



今回のペットは
デブニャンコさんちのランちゃんです



私の家族

ペットの紹介コーナー

うちのランちゃんです
ベルジャの雑種で

ランです
よろしくねっ
(´。´)

これでも男の子です

ちなみに全長60センチあってめっちゃめっちゃでかいです
体重も7キロ以上とめっちゃおデブちゃんです
好きな事は飼い主の自分と犬みたいにリードつけて一緒に散歩することです
引越す前は近所の小型犬とよくじゃれて遊んでました

お散歩
いきたいなあ
(*´ω´*)



次回は
ドールについてです
あなたをドールの
世界へ導きます

りんごとユリ根の

スイーツスープ



【材料】

りんご1 ユリ根1 塩少々 レモン汁 小さじ1、
砂糖 大さじ3 粉寒天 4g

【作り方】

- ① ユリ根は一片ずつはがし、洗っておく。りんごは皮をむいて八割にし、しんをとって皮付きのまま、いちようぎりにする。
- ② りんごと砂糖、水カップ3を鍋に入れて中火にかけ、りんごが透き通ってきたら、ユリ根を加えて柔らかくなるまで煮る。
- ③ 粉寒天を②にふりかけ、煮立たせながらかきまぜとろみをつける。
- ④ 火を止めて、塩とレモン汁を加えて味を調える。

編集後記

今年もあと少しとなりましたね。皆さんは今年中にしておかないといけないことはありませんか？

我が家は毎年大掃除を始めるのが遅く、中途半端で終わらせてしまい年を越してしまいます。今年こそは頑張る…と思っていますが、重いお尻がいつ上がるやら(´;ω;`)

おっと、今年は大掃除の前に選挙に行かねば(人^人)

M.K